

第 11 回茅野市新地域公共交通検討会議

開催日時	令和 3 年 10 月 21 日（木） 午後 6 時 30 分から午後 8 時 05 分まで		
開催場所	茅野市役所 8 階大会議室		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	6 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
事務局	<p>第 11 回茅野市新地域公共交通検討会議を開催。詳細は下記のとおりです。</p> <p>1 開会</p> <p>定刻となりましたので、只今から、第 11 回 茅野市 新地域公共交通検討会議を開催いたします。</p> <p>始めに、本日の検討会議の進め方を、ご説明させていただきます。</p> <p>主な案件は、2 件であります。一つ目が「新しい公共交通体系について」、二つ目が「運行システムの選定について」、であります。</p> <p>まず、一つ目の「新しい公共交通体系について」ですが、これまで、茅野市の目指すべき地域公共交通につきまして、この検討会議にて協議を重ねていただき、現状の地域公共交通の課題の確認、そして、新しい地域公共交通システム、及び AI オンデマンドを取り入れた地域公共交通の検討、のらぎあの実証運行、通学・通勤バスの運行など、利便性を考えた市民の足として、路線バスから多様な移動目的に対応した公共交通手段への移行というものを、第 1 段階として協議がなされてきました。</p> <p>MaaS という考えに基づく目指すべき方向は確認できているわけですが、ここで、具体的な交通体系の組合せと言いますか、具体的な形、イメージができる形というものを決める中で、スケジュール案や予算への対応など、来年度に向けて進めていきたいと考えています。</p> <p>事前にお配りさせていただいた「資料 1」に基づき、事務局からご説明させていただき、その後、数年後に目指す「日中の生活移動」の形態につきまして、考えられる交通体系パターンを 4 つ示させていただきました。メリット・デメリット等を考える中で、茅野市にあった交通体系の方式を、グループワークで意見等を出し合い、ご協議をいただければと思います。</p> <p>そして、グループワークで出された意見等を取りまとめる中で、次回の検討会議に提示し、茅野市が数年後に目指す交通体系の方式を決められればと考えています。</p> <p>また、目指す交通体系の「かたち」に向けて、来年度から、できるところから取り組むためのオンデマンドの導入パターンを 4 つ、示させていただきましたので、併せてご協議いただき、進めていければと考えています。</p> <p>なお、これから目指す交通体系の「かたち」に向け、進めていく中で、変更・改善等すべき点が出てくると思いますが、短期的又は中期的な見直しを、その都度、検討会議で協議いただき、変更・改善等していくことといたしまして、当面の目指すべき方式として決定し、併せて、来年度から、できるところから進めていきたいと考えています。</p> <p>次に、二つ目の「運行システムの選定について」ですが、AI オンデマ</p>		

	<p>ンドのシステムの構築における手続き等につきまして、「資料 2」に基づき、ご説明させていただきます。</p> <p>以上、長くなりましたが、本日の流れをご説明させていただきました。よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、会議次第に沿って、進めさせていただきます。</p> <p>篠原会長からご挨拶いただきます。会長よろしく申し上げます。</p>
<p>会長</p>	<p>2 会長あいさつ</p> <p>お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。このように皆様とご意見を交換することができますので、本日は皆さまから忌憚のないご意見をいただければと思います。</p> <p>ひとつ感激したことがございました。北大塩口から出発する通勤通学バスの米沢線が開通した際に、バスの運転手に地域の PTA の方々から花束が配られ、自主的に乗り方の手順書も用意して子どもたちの乗車がスムーズであったと聞いて本当に感激しました。今回の新しい通勤通学バスの歓迎と定着させたいという気持ちが表れているのだと思いました。</p> <p>このように地域の皆様がそれぞれの立場で新しい取り組みを行っていくということが、これからの茅野市で心豊かに、安心安全なまちづくりを行っていく上で重要なんだと感じました。</p> <p>本日はよろしく願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。それでは篠原会長議事進行の方、よろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>3 案件</p> <p>(1) 新しい地域公共交通体系について</p> <p>①新しい地域公共交通体系について【資料 1】</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>別紙資料 1 に基づき、スケジュール、運行体系パターン、導入パターンについて説明。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。まずは皆さまからのご質問を受けたいと思います。ご質問はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>それぞれのパターンで想定している利用者数と利用者層を教えてくださいたいと思います。</p>
<p>コンサル</p>	<p>今回の想定している利用者数ですが、今年 5 月まで実施していたのらざあ利用者数と既存バス路線の利用者数をベースに合算して試算しています。ただし、のらざあの利用者アンケートの中で既存バス利用からのらざあに転換した方が 14%いらっしゃいましたので、その部分の重複を除去したため、おおむね現在のバス路線利用者とのらざあ利用者がベースとなっております。既存のバス路線の運行については、月、水、木の曜日運行に加え、火、金曜日運行がございますので、それを日平均化したときに、観光利用者も含めて、おおむね日 450 名の利用者が想定されます。ただし、その中で、通期通学で利用している 100 名を除いた形で日</p>

	<p>中については 350 名で試算しています。</p>
会長	<p>他にご質問のある方はいらっしゃいますか。</p>
会長	<p>それではワーキンググループ討議を行ってください。</p> <p>内容については、ご提案した地域公共交通の姿について、各委員さんからご意見やご感想をいただく中で全体像の協議を 5、6 ページの交通体系を参考、そしてその後に、ページでいうと 7、8 ページの段階的導入パターンの協議をお願いします。進行はグループのファシリテーターが行います。書記を指名し、出された意見等の集約をお願いいたします。</p>
各グループ	<p>A から E グループに分かれて約 30 分間のグループワークを実施</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>出されたご意見については、集約し、検討するなかで、新しい地域公共交通の構築について、協議を進めてまいります。</p>
会長	<p>(2) 運行システムの選定について</p> <p>②運行システムの選定について【資料 2】</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>別紙資料②に基づき運行システムの選定について説明。</p>
会長	<p>ご質問があればお願いします。</p>
全委員	<p>特になし。</p>
会長	<p>それでは、システムについては本仕様書を前提として選定をしていただければと思います。</p>
会長	<p>(3) その他</p> <p>③実証運行の中間報告について【資料 3】</p> <p>事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>別紙通勤通学バス運行のチラシに基づき説明。</p> <p>10 月 1 日からピアみどり線、米沢線、泉野・玉川線が新設・延伸するなかでそれぞれの運行を行っています。10 月 20 日までの運行状況について説明いたします。運行日数については 14 日間となります。ピアみどり線上り（北山小学校を出発する便）が 3 便ございます。それぞれ利用者数は多く、安定した利用、運行になっています。利用者の日平均が 28.9 人、こちらは 9 月末まで実施していた北山小学校まで延伸する前の数字と比較しても利用者の変動はなく、安定した利用をしていただいております。ピアみどり線につきましては、14 日間の運行で上りが 404 人、下りについては利用者数が 387 人、日平均が 27.6 人となっています。</p> <p>米沢線につきましては、朝、夕それぞれ 1 便ずつしかございませんが、朝の便につきましては、14 日間で 200 名、1 日平均 14.3 名、下りにつきましては、77 人、日平均は 5.5 人となります。</p>

<p>会長</p>	<p>泉野・玉川線につきましては、朝の1便の利用につきましては、14日間で86名、日平均6.2名、下りの2便については、合せて72名、日平均5.2名となっています。</p> <p>米沢線は主に永明中学校の学生が利用しているため、比較的安定していますが、下りの便につきましては、利用者が朝に比べて極端に少ない状況になっております。そうしたことも併せて時間帯の変更等の要望もある中で、検討していく必要があると考えております。</p> <p>泉野・玉川線につきましては、利用者が少ない状況です。まだまだ広報周知を行い、利用促進を図ってまいりたいと考えています。</p> <p>全体をとおして何かあればお願いします。</p>
<p>アルピコ交通担当者</p>	<p>4 その他</p> <p>観光拠点再生・高付加価値推進事業について</p> <p>別紙資料のニュースリリース及びチラシに基づき白樺湖・蓼科湖エリアにおけるシームレス乗継実証運行について説明。観光地におけるMaaSの実現に向けた取組みであるため、タクシー利用については無料で実施しています。利用状況については、実証バスについては、平日で12.9人、日曜日で19.3人のご利用がありました。デマンドタクシーについては、1日平均0.8人、1日の最大利用者が4人となっています。今後はアルピコ交通のホームページや観光ナビでのPRに加え、専用チラシ等を作成し、銀座NAGANOへも設置していただく予定です。また、11月には、高速バス（新宿線）のリアボディーにラッピングして白樺湖・蓼科エリア及び茅野市への集客に努めてまいりたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>以上を持ちまして案件は終了しました。</p> <p>それでは会の進行を事務局にお戻しいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>今日の会議で決まったことと決まっていないことの確認をさせていただきたいと思います。デマンド交通を行うことは決定事項であるのか。御柱祭が終了する来年6月からのフルオンデマンドがスタートすることについても決定事項なのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>オンデマンドについては、これまでの会議の中で議論されてきましたので、来年度になったところで実施してまいりたいという方向で考えています。スケジュールにつきましては、本日、案という形でご提示させていただきましたので、それに基づきまして検討会議、事業者の皆様と検討していく中で進めていければと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>その他にございますか。</p>
<p>全委員</p>	<p>特になし。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日はありがとうございました。次回の会議につきましては、今回の意見をまとめさせていただく中で11月中旬または下旬に開催し、議論をお願いできればと思います。詳細の日程については追ってご連絡差し上げます。</p>

5 閉会

以上をもちまして今回の検討会議を終了します。本日はありがとうございました。

以上